学校番号	1015

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」　（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達や保育に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・胎児や子どもの発達特性や発達過程、保育などについて、理解を深め、知識を身につけます。将来子どもを育み、支援できる力を身につけましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基いた確かな技術を身につけます。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や保育などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	子どもの発達や保育などについて関心をもち、課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもの発達や保育に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	子どもの発達や保育などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作品、観察記録表 レポート、定期考査、実技テスト、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作計画、観察記録表、レポート、発表、定期考査の結果　等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達過程	○身体発達と運動機能の発達 ○乳幼児期のからだの発達 ○乳幼児期の発達の特徴 ○人間関係の発達 ○心の発達	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:乳幼児の発育のめざましさや心の発達過程の複雑さ、多様さなどについて、関心をもって学習に取り組もうとしている。 b:発育の個人差を考え、まとめたりしている。 c:乳幼児の生理的特徴、発達の順序性、方向性、親の役割などについて説明することができる。 d:乳幼児期が人間の発達段階において重要な時期であることを理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
2学期	子どもの生活	○子どもの健康と生活 ○子どもの食事 ○子どもの衣服 ○子どもの遊びと生活 ○子どもの健康管理 ○保育実習 ○絵本の読み聞かせ ○おもちゃ作り	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a:実際に自分が乳幼児の世話を行う立場になったときのことを考えながら積極的に取り組もうとしている。 b:食事や衣服、遊びが生活習慣の形成や心の発達に及ぼす影響、また、基本的生活習慣や社会的生活習慣の習得について、その意義や重要性について考え、まとめたり、発表したりしている。 c:乳幼児の養護の必要性や目的をふまえ、その発達段階に応じた適切な養護の方法や生活援助のための方法が選択できる。 d:子どもの日常生活における世話の仕方についてまた、自立への手助けについて心がけるべきことを理解している。	授業観察 ワークシート 実習記録表 製作物 自己評価 定期考査

3 学 期	子 ど も の 保 育	○保育の意義と目標 ○保育の方法 ○保育の環境	○	 ○	 ○	○ ○ ○	a:現代の保育や家庭・社会を取り巻く課題について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:月齢や年齢に応じた保育者のかかわり方や家庭や社会全体で協力して子育てすることの大切さについて考え、まとめたり、発表したりしている。 c:家庭保育や集団保育の現状と課題について新聞やインターネットなどから情報を収集し、まとめ、自分の意見を持つことができる。 d:家庭保育、集団保育や幼稚園、保育所の違いをそれぞれ理解している。	授業観察 プリント レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。